

2020年3月3日

JESCOホールディングス株式会社
東証2部上場 1434
広報・IR部
TEL(代表):03-6382-7173

News Release

創業50周年事業「JESCOアカデミー」がキックオフ インターネットを利用した教育カリキュラムの導入へ

2月3日、JESCOホールディングス株式会社（本社：東京都中野区、代表取締役会長兼CEO：杉本俊洋）は創業50周年事業の一環である新教育システム「JESCOアカデミー」の6月プレ開講に向け、本社新中野ビルにてキックオフミーティングを実施いたしました。

同アカデミーは、入社3年で1人前の技術者を育成する教育カリキュラムです。クラウドシステムを構築し、専用ウェブサイトから独自の講座を配信し、普段社内教育を受ける機会が少ない現場の社員がいつでも好きな時に受講ができます。

JESCOプロジェクトチームとコンサルタントの株式会社タナベ経営（東京本社：東京都千代田区、代表取締役社長：若松 孝彦）が連携して、現場で役立つ知識・ノウハウの習得や、国家資格である施工管理技士の取得をサポートするコンテンツを作成していきます。対象社員へのアンケートやヒアリングも取り入れ、共通スキル・専門スキル・専門資格などの分野を基盤に展開する予定です。

本開講は8月を予定しており、将来的には協力会社等でも受講ができるよう計画を進めていきます。また同計画は日刊工業新聞に掲載されました。（P.2 記事参考）



キックオフミーティングの様子

社内大学 8月開校

JESCO HD

施工管理技士資格3種

ネット講座で取得サポート

JESCOホールディングス（HD）は、グループ各社の人材を入社3年で一人前の技術者に養成するため「JESCOアカデミー（社内大学）」を6月にプレ開校する。クラウドシステムを構築し、インターネットによる教育カリキュラムを導入する。電気設備工事に必要な三つの施工管理技士資格の取得をサポートする。投資額は初年度約1000万円で、年間数十万円を投じてアカデミーを運営する。

JESCOグループ一トした。カリキュラムはプロジェクトチーム（PT）とコンサルテイングのタナベ経営を交えたキックオフミーティングを実施し、開校に向けた準備をスタンダードスキル学



科は、電気・家電製品・ギア発電基礎講座などの基礎講座や新エネルギー6講座、23科目を用意

グループ各社の人材を3年で一人前にする（JESCOアカデミーキックオフミーティング）

する予定。本開校は8月。

「ネット上でいつでも学べる体制を構築することで、平等な知識の向上とグループ全体の底上げを図ることができると」（柏木俊洋会長兼CEO）とし、国家資格である電気工事、電気通信、土木工事の各施工管理技士の取得を後押ししていく。

同社は独立系電気設備工事会社で、設計・調達・施工管理（EPC）の一貫受注が強み。国内外でEPC事業を展開・拡大するには、有資格者の増員は不可欠と判断し、グループ全体で教育体制を整えることにした。アカデミー設立は創業50周年記念事業の一環。

※この記事は日刊工業新聞社の転載許諾を受けています。

以上

< JESCOホールディングス株式会社について 東証2部 1434 >

当社グループは、電気、通信、無線設備工事の設計・積算・調達・施工・保守を一貫通貫しEPC※事業を展開しております。国内ではETC・防災無線、太陽光発電を始め、ベトナムを中心としたASEAN諸国では空港等のインフラODA案件、また多くの高層コンドミニアムの設備工事を手掛けております。2018年4月11日には国土交通大臣表彰「第1回JAPANコンストラクション国際賞」、また、同年4月18日、ベトナム国建設省副大臣表彰「2018年度高品質工事賞」を受賞いたしました。

[JESCOホールディングス株式会社ホームページ](#)

※EPC... 「Engineering, Procurement and Construction」

「設計、調達、建設」など一連の業務